

総合計画策定審議会答申

せたな町 総合計画案

平成20年度から平成29年度まで10か年の「せたな町総合計画案」が、11月26日開催の第3回総合計画策定審議会において決定し、佐藤佑二審議会会長から町長に答申されました。

審議会は、平成18年5月に町長からの諮問を受け、以後、計画策定に向け住民懇談会やアンケート調査などの事前調査を通じ、町民皆さんからのご意見等を聞きながら、分野ごと3つの専門部会に分かれ、それぞれの仕事の現状や課題、将来展望などについて検討を重ね、新町「せたな町」のまちづくりの指針となります。「せたな町総合計画案」をまとめましたので、その概要をお知らせします。

将来

みんなの笑顔と
力で創ろう

像

共生・協働

- ・町民の一体感が最も大切です。
- ・自然との共生、人と人とのふれあい、町民と行政が互いに助け合う「共生・協働」のまちづくり。

未来の「せたな」。

安心

- ・安心して笑顔で暮らせることが大切です。
- ・健康面や老後、子育てや教育、防災、近所づきあい、食、経済的な安定など、すべての生活の中で、心配ごとがなく、いつも笑顔が絶えない「安心」のまちづくり。

せたな力

- ・地域の特色をせたな町の力として発揮することが大切です。
- ・地の力や人々の力、輪の力など、せたな町が持つすべての資源を活かし、連携して、地域の総合力「せたな力」を高めるまちづくり。

■3つのキーワードで まちづくり

せたな町は、平成17年9月1日、旧北檜山町・旧瀬棚町・旧大成町が合併し誕生した新しいまちです。それぞれの地域の歴史と伝統に培われた豊かな文化や自然、特色のある地域資源を新しいまちづくりの土台にし、それらを結びつけながら、新しい町「せたな」を創り育てていくことが大切です。

そのためには、地域の特色や資源を最大限に活かし、町民と行政が共に力を合わせ、安心して住み続けることができるまちづくりを進めることが必要であり、その目指すべき考え方として、せたな町が今、最も大事にしにければならない「共生・協働」、「安心」、「せたな力」をまちづくりの基本理念としました。

そして、せたな町が目指す将来像は、3つの基本理念を柱に、「安心して笑顔で暮らせるまち」「ゆとりと豊かさを実感できるまち」「活力と魅力にあふれるまち」を願い、「みんなの笑顔と力で創ろう、未来の「せたな」。」としました。